

広報

しょうぼう さつま

119

vol.14

平成 23 年 11 月発行

編集・発行

さつま町消防本部

鹿児島県薩摩郡さつま町時吉 366

Tel 0996-52-0119

Fax 0996-53-0119

Web <http://www.satsuma-net.jp/119/>

mail shobo@satsuma-net.jp



集団救急事故訓練

～重症傷病者の防災ヘリでの搬送訓練～

平成23年度全国統一防火標語

消したはず
決めつけしないで
もう一度

主な内容

1～2 ページ・・・ドクターヘリが今年 12 月から運行開始

集団救急事故訓練実施

3 ページ・・・老朽化した消火器の破裂事故が多発

住宅用火災警報器 600 世帯が未設置

4 ページ・・・秋の全国火災予防運動を実施

わがまちの消防団(柘野・虎居分団)

5 ページ・・・救急医療町民講座実施

消防ほつと写真館(職場体験学習特集)

ドクターヘリ・始動!

今年12月から運航が開始されます。

空飛ぶ救命室とも言われる「ドクターヘリ」

このドクターヘリが、いよいよ今年12月から鹿児島県でも運航が開始されます。

ドクターヘリの運航により、現場ですばやく「治療」にとりかかることができるため、重症傷病者の救命率の向上や後遺症の軽減が期待できます。



導入される予定のドクターヘリのイメージ図

※海外アビオテック株式会社ホームページから引用
(実際の機体とは異なります。)

*ドクターヘリとは？

高度な医療機器を積載し、医師及び看護師を搭乗させて救急現場などへ向かい、その場で救命治療を始めることができるヘリコプターです。現在、全国23道府県で27機が運航されています。

※(平成23年7月1日現在)

*誰が要請するの？

119番通報を受けた消防本部が、通報内容や傷病者の状態を判断して、専用のホットラインで要請します。

「※一般の方が直接ヘリを要請することはできません。」

*どこに着陸するの？

あらかじめ指定された公園や校庭などの臨時発着場(ランデブーポイント)の中で、最適と思われる場所に着陸します。さつま町では現在20箇所を申請してあります。

*搬送費用はかかるの？

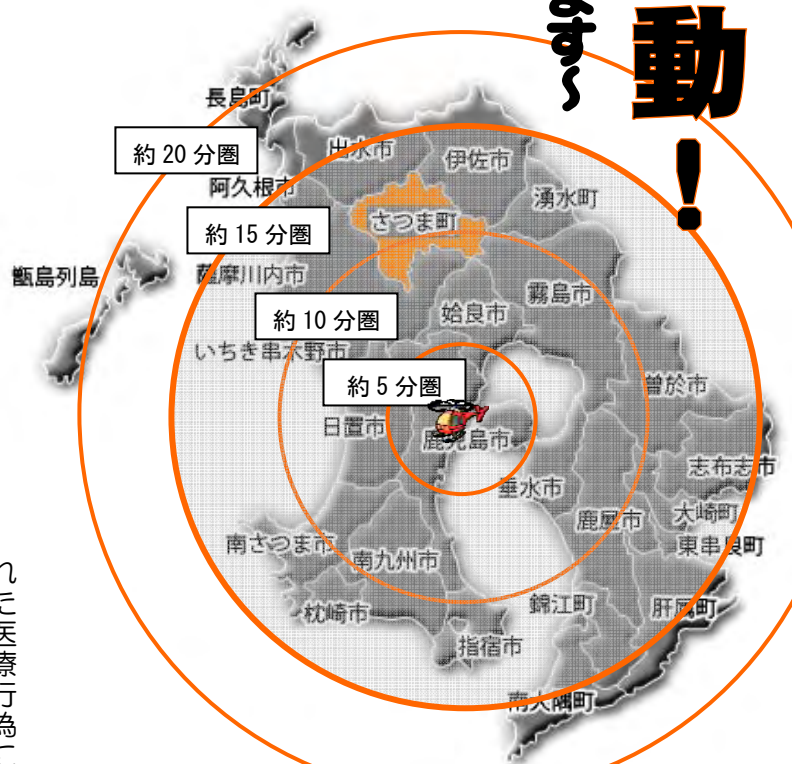
ドクターヘリそのものの搬送費用は無料です。ただし、救急現場や機内で行わ

*どこから飛んでくるの？

れた医療行為に対しては、一般の病院と同じように、医療費の一部を患者さんが負担することになります。

鹿児島市の浜町ヘリポート(鹿児島水族館の近く)から、運航主体である、鹿児島市立病院救命救急センターの医師等を乗せて運航されます。

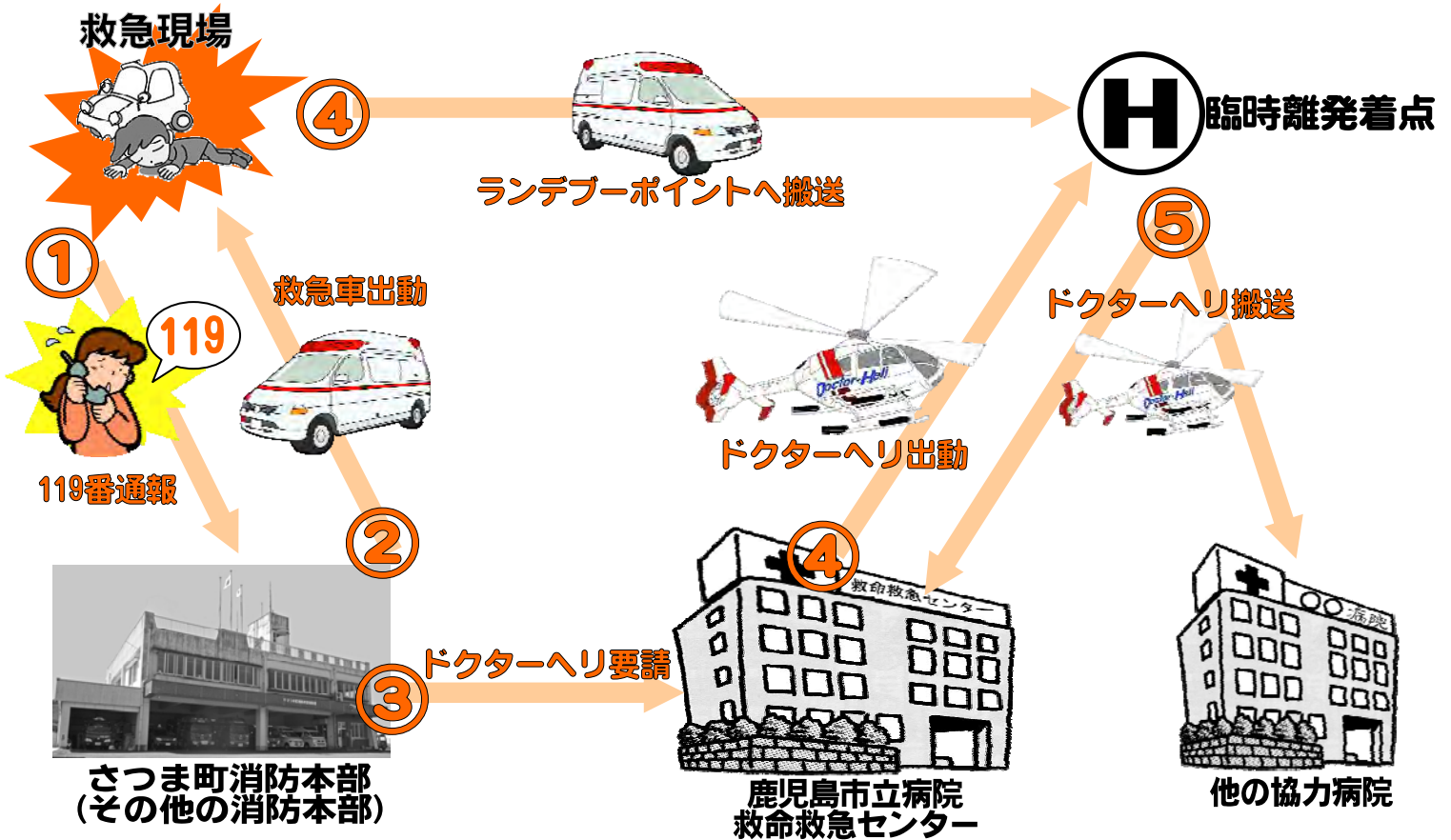
平成27年からは、新築移転する鹿児島市立病院の敷地内から直接運航される予定です。



「算出根拠」(運航調整会議資料から)
 ・参考文献: アグスタ社カタログデータ
 ・巡航速度: 278km (150kt)
 ・離着陸に要する時間を考慮(2分)
 ・現場天候等による遅延等は除く



ドクターヘリの要請から搬送までの流れ



◎ドクターヘリの安全な運航にご協力ください◎

- ① ヘリが着陸のために近づいてきたら、付近からすみやかに離れてください。
- ② ヘリの離着陸時には、ローターの風圧のために砂やほこりが舞い上がる恐れがあります。近くにお住まいの方は、窓を閉めるなどの対策をお願いします。
- ③ 着陸後には現場で救命治療を行いますので、絶対にヘリに近づかないでください。

集団救急事故訓練を実施

9月22日、イベント中に、暴漢により多数の負傷者が発生したとの想定で実施されました。

救急隊や、応援要請した医師によるトリアージ（搬送優先順位等の決定）等の訓練が、事前に想定を与えられないブラインド訓練で本番さながらに実施されました。



消防・防災ヘリでの搬送訓練

また、ドクターヘリ運航を前に、県消防・防災ヘリを要請し、重症の傷病者を現場から直接救命治療ができる病院へ搬送する訓練も実施されました。



応急救護所での医師らによるトリアージ訓練



老朽化した消火器の破裂事故が急増!

最近、老朽化した消火器による破裂事故が多発しており、全国各地で死傷者が発生しています。

今年の7月には霧島市でも破裂した消火器によりケガをした事故が発生し、さらに、9月には大分県において死亡事故も発生しています。



部分の腐食を確認する。
特に、首や底は腐食していないか確認をする。

へこみがないか確認をする。
外観にキズ・へこみがないか確認をする。

消火器の処分は(社)日本消火器工業会が地域の特定窓口と協力して行っていますので、お近くの窓口へお問い合わせください。
※一定の料金がかかります。
【さつま町内の特定窓口】
○モチハシ防災設備(株)
Tel 53・2088

▼どんな消火器が危険?

消火器は、消火薬剤を放射するために高圧に耐えられるような構造になっていますが、耐用年数を過ぎていたり、期限内であっても、サビ・キズ・変形等によって容器の強度が弱くなり、放射の際に破裂する恐れがあります。

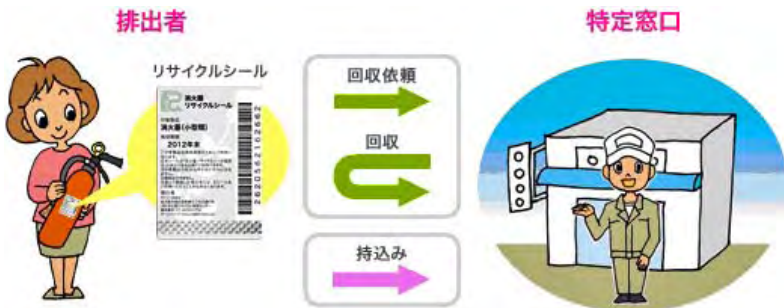
次の点に注意してご家庭の消火器を確認しましょう。

※腐食し破裂の恐れが高まりますので、消火器を風雨にさらされる場所や湿潤な場所には保管しないでください。

▼消火器の処分の方法は?

消火器は、廃棄物処理法により、一般のゴミと同じように処分することはできません。また、消火器の解体処理には、専門的な知識と設備を必要とします。

一般的な消火器リサイクルの流れ



未だ600世帯が未設置!



現在の状況は?

平成23年6月1日からすべての住宅へ住宅用火災警報器の設置が義務化されました。



寝室への設置を!

さつま町内は90%を超える設置率(※平成23年10月7日現在)となっていますが、未だ600世帯前後が未設置となっています。

住宅用火災警報器の設置場所は、寝室となっています。また、2階以上に寝室がある場合は、階段にも設置が義務付けられています。その他の台所等には設置義務はありませんが、火災の早期発見のためにも、努めて設置するようにお願いします。



ご家族の安心・安全のためにも、早めの設置をお願いします。



電池切れに注意!

ステッカーの申請を!

設置してから数年が経過しているご家庭では、電池の寿命がきている機種もあります。電池切れの場合、いざというときに作動しないおそれがありますので、取扱説明書などでご確認の上、ご家庭の住宅用火災警報器の点検をお願いします。

消防本部では、住宅用火災警報器を設置されたご家庭に無料で『設置済ステッカー』を交付しています。お持ちでない方は、消防署、役場本庁若しくは各支所でも交付していますので、申請をお願いします。



消防署では、「消したはず 決めつけしないで もう一度」を全国統一防火標語として、「119番の日」である11月9日から15日までの7日間にわたり、秋の全国火災予防運動を実施します。

これから空気が乾燥し、暖房器具の使用が始まるなど火災が発生しやすい時季を迎えることから、一人ひとりが火災予防について真剣に考え、火災による死傷者や大切な財産の損失を防止

秋の火災予防運動実施

期間中、消防署では様々な活動で火災予防を訴えることになっています。

ごましよう。

火災予防運動期間中の行事から

- 11月5日(土) 10時～防火パレード 百縁祭に合わせて園児らがパレードします。
- 11月6日(日) JA農業祭参加 園児がお遊戯で防火を呼びかけます。
- 11月20日(日) さつまフェスタ レスキュー体験や防火衣の試着ができます。
- 園児の消防車写生会作品展示
10月29・30日 薩摩農村環境改善センター
11月2・3日 宮之城武道館
11月23日 鶴田中央公民館

シリーズ わがまちの消防団

柘野分団

※平成23年10月1日現在

分団長 前野 浩司
副分団長 木場 秀光 以下14名
管轄～柘野区全域

私たちの担当する柘野地区は、四方を山に囲まれた、ひがん花の咲く小さな山里です。

町内でも高齢者率が高く、また、大雨による土砂災害の危険箇所の多い地域でもあります。

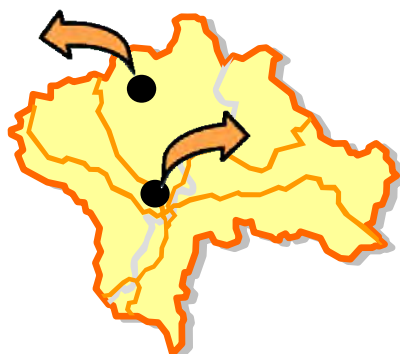
地域の安心・安全を守るため、団員一丸となり予防消防に努めたいと思います。皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

虎居分団

※平成23年10月1日現在

分団長 井手原 清美
副分団長 矢野 秀輝 以下17名
管轄～虎居地区

虎居分団では、日頃から操法の練習、水利の点検、危険区域の見回り、避難所開設時の補助等、虎居区住民の安全と財産を守るために尽力しております。ここ最近、消防車庫も新しくなり、今まで以上に機能性は高くなってはおりますが、深刻な人員不足に悩まされています。防火、消防活動がスムーズにできますよう、地域住民の方々のご理解とご協力の程をよろしくお願いいたします。



AEDの取り扱いを指導

救急医療町民講座開催

9月8日、薩摩農村環境改善センターで救急医療町民講座が開催され、消防署員により心肺蘇生法とAEDの取り扱い実技訓練を実施しました。参加された皆さんは質問を繰り返しながら積極的に練習され、AEDの使い方などをマスターされました。

消防署では、心肺蘇生法を中心とした「普通救命講習」を随時受け付けています。

ぜひ受講してAEDの使い方などを覚えておきましょう。
◎お申し込み・お問い合わせ
救急係 052-10119



消防ほっと写真館



**中学生
職場体験学習で
大奮闘!**

今年も町内の4つの中学校の生徒たちが、職場体験学習で消防署の仕事を体験しました。みんな真剣に訓練などに取り組み、一回り大きく成長してくれました。

